

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	商法ⅠA（Commercial LawⅠA）		
ナンバリングコード	E30501	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／応用レベル 法律学
単位数	2	配当学年／開講期	3 年／前期
必修・選択区分	選択必修:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E025601	クラス名	-
担当教員名	大西 貴之		
履修上の注意、 履修条件	履修条件はありません。		
教科書	小柿徳武, 伊藤吉洋, 原弘明, 島田志帆『基礎から学ぶ商法』		
参考文献及び指定図書	近藤光男『現代商法入門〔第11版〕(有斐閣アルマ)』(有斐閣) 柳明昌(編)『プレステップ会社法〈第2版〉』(弘文堂) 高橋美加・笠原武朗・久保大作・久保田安彦「会社法〈第3版〉」(弘文堂)		
関連科目	民法ⅠA、民法ⅠB、商法ⅠB、その他の法律系科目		

○基本情報		
授業の目的	本講義は会社法について学ぶ科目です。 企業活動の大部分は、「会社」という形態で行われます。そして会社を運営するための仕組み、会社が資金を調達するための方法、会社をめぐる利害関係者(株主や会社債権者)の権利の内容などについて法的ルールや原則を定めているのが会社法です。 本講義はこれらの法的ルール・原則について学び、その知識を用いて会社を相手とした法律関係、会社内部での法律関係を理解できるようになることを目指します。	
授業の概要	本講義は、会社法のうち特に株式会社法を中心に扱います。 まずは総論・株式会社の機関設計論から始め、株式、株式会社内部の様々な機関について概観します。そして役員等に対する責任追及の手段、資金調達、会社設立や組織再編に関するルールを解説します。 毎回テーマに合わせたレジュメを配布し、講義はレジュメと教科書を併用して進めます。 企業を相手に活動をしたり将来企業に勤めたりしたときに会社法は重要です。そのような場面で授業を通じて得た知識を活用できるように、事例や時事を用いながら講義を進めます。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会における会社法の重要性を理解し、会社法に関する時事や問題に関心を持つようになること		15点	
【知識・理解】	会社法の基本的な考え方や枠組み、会社法の規定や制度(など)について理解すること	20点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	会社法における専門的な用語や言い回しについて他者に正確に説明できるようになること	25点		
【思考・判断・創造】	具体的な問題に対して講義で学んだことを応用・実践できるようになること	25点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
期末試験は70点満点(空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題)。 提出物には①コメントシート(15点満点)と②授業内容理解を確認する必修課題(15点満点)があります。 コメントや課題へのフィードバックは、次回以降の授業にて行います。 定期試験の要点と解説についてはGoogle Classroomに掲載します。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	商法ⅠA（Commercial LawⅠA） 大西 貴之	授業コード	E025601
学修内容				
1. 商法・会社法とは？ ガイダンス、受講にあたって、商法と会社法の基本を知ろう				
予習	指定された教科書のなかで興味のある部分を読んでおくこと			（約2.0h）
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			（約2.0h）
2. 会社法総論 会社とは何だろう、株式会社とは、				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			（約2.0h）
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			（約2.0h）
3. 株式(1) 株主の地位と権利、株式平等原則				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			（約2.0h）
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			（約2.0h）
4. 株式(2) 株式の譲渡、会社には株式を自由に譲渡されたら困る場合がある				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			（約2.0h）
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			（約2.0h）
5. 株式(3) 自己株式、投資単位を調整する方法				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			（約2.0h）
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			（約2.0h）
6. 期間設計と株主総会(1) 株式会社の期間設計、株主総会の権限・招集				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			（約2.0h）
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			（約2.0h）
7. 株主総会(2) 株主総会で株主ができること、株主総会の議事と決議、株主総会決議の瑕疵があるとき				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			（約2.0h）
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			（約2.0h）
8. 株式会社の機関(1) 取締役・取締役会・代表取締役				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			（約2.0h）
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			（約2.0h）

○授業計画	科目名 担当教員	商法ⅠA (Commercial LawⅠA) 大西 貴之	授業コード	E025601
学修内容				
9. 株式会社の機関(2) 代表取締役(つづき)、監査役・監査役会・会計監査人				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
10. 株式会社の機関(3) 取締役の義務、取締役と会社の利益衝突				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
11. 役員等の任務懈怠責任と株主代表訴訟 役員等の会社に対する責任、役員等の第三者に対する責任				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
12. 資金調達(1) 株式会社の資金調達方法、募集株式・新株予約権の発行				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
13. 資金調達(2)と会社の成立 社債、会社の設立方法、設立に問題があった場合				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
14. 組織再編 組織再編とは、合併、会社分割、株式交換・株式移転				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
15. まとめ ふりかえり、その他の会社法のルール				
予習	これまでの講義14回分の内容確認の問題に改めて取り組んでおくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
16. 期末試験 空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題				
予習	15回までに配布した資料、レジュメ等をまとめて振り返ること			(約2.0h)
復習	試験の要点と解説を確認して、これまでの内容理解を定着させること			(約2.0h)